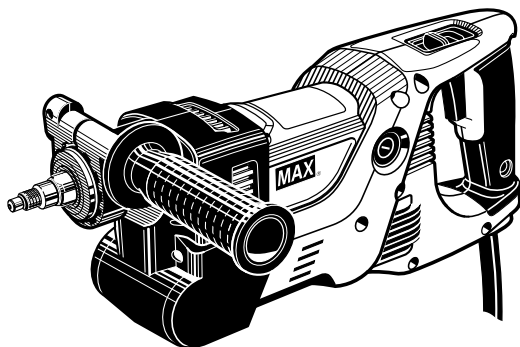


マックス 乾式静音ドリル DS-181D

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 揮発性可燃物や引火のおそれがある物のそばでは絶対に使用しない。
- 雨の中、水のかかる場所では使用しない。
- 濡れた手で絶対に触れない。
- エンジン発電機や直流電源では絶対に使用しない。
- 使用中は、回転部や切りくずなどに手や顔などを近づけない。
- 使用時以外は絶対にスイッチに指をかけない。
- 移動時、本機の調整、刃物・ビットなどの交換時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、スイッチに指をかけない。
- 長時間使用しない時は、電源プラグを必ずコンセントから抜く。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置、保管しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機を絶対に分解・改造しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

*便利メモ

お名前		商品名	DS-181D
お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
販売店名		☎ () -	



二重絶縁

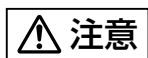
このたびは、マックス乾式静音ドリルをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**▲警告**、**▲注意**、**注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**▲注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



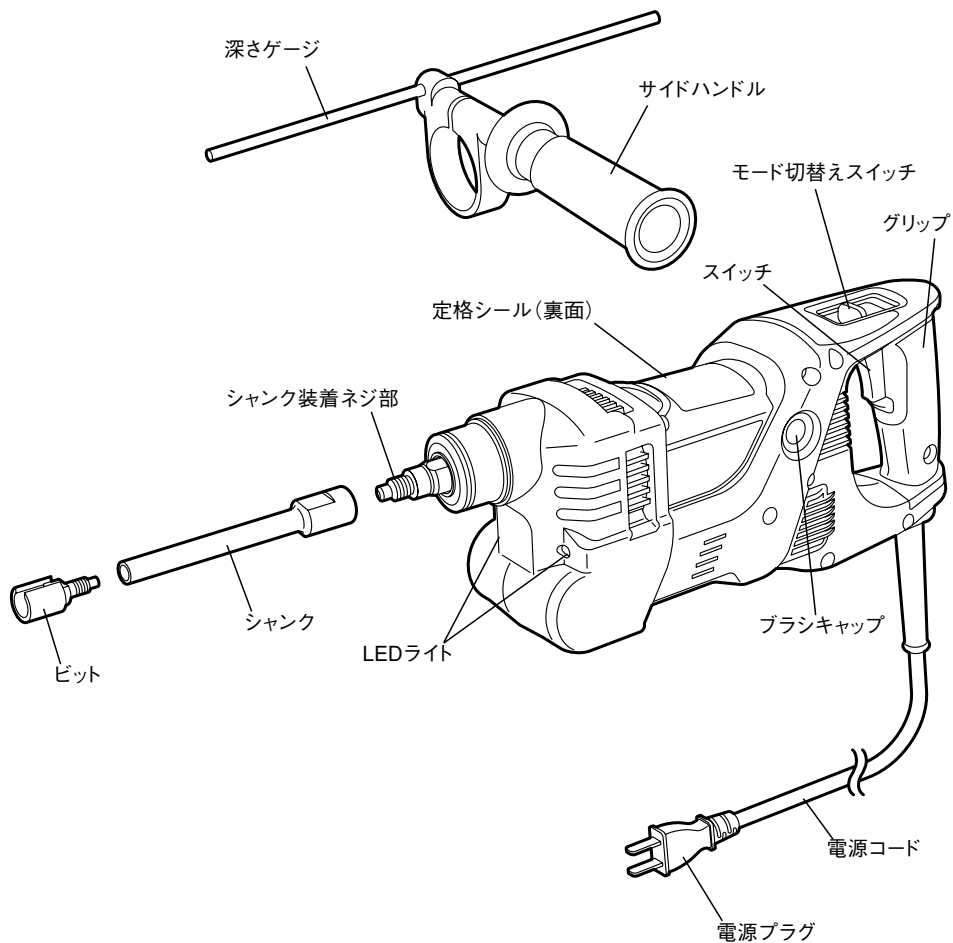
：製品、付属品の取り扱い及びメンテナンスなどに関する重要なご注意。

目 次

1. 各部の名称及び標準付属品	1
2. ▲ 安全上のご注意	2
3. ▲ 乾式静音ドリルの安全上のご注意	6
4. 仕様及び付属品	8
5. 別販売品	9
6. ご使用前に	10
7. ご使用方法	16
8. パワーサポート機構について	19
9. 性能を維持するために	20
10. 保証、アフターサービスについて	21

全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称及び標準付属品



2

▲安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 感電に注意する。

- ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- ・電源コードが破損していないか使用前に確認してください。
- ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）感電の恐れがあります。

2. 作業場の周囲状況を考慮する。

- ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- ・作業場は十分に明るくしてください。
- ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

3. 保護メガネを使用する。

- ・作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。飛散する切り粉や粉塵などが目や鼻に入る恐れがあります。

4. 保護具を着用する。

- ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）など防音保護具を着用してください。
- ・作業時はヘルメット、安全靴などを着用してください。

5. 電源コードを乱暴に扱わない。

- ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・電源コードを熱、油、角のこがった所に近づけないでください。

2 ▲ 安全上のご注意

▲ 警告

6. **加工するものをしっかりと固定する。**
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
7. **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
 - ・使用しない、又は修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
不意に電動工具が作動して、事故やけがの原因になります。
8. **不意な始動は避ける。**
 - ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電源プラグをコンセントに差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
不意に電動工具が作動して、事故の原因になります。
9. **指定の付属品やアタッチメントを使用する。**
 - ・この取扱説明書、及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因になります。
10. **異常を感じたら絶対に使用しない。**
 - ・スイッチが入らない、回転が止まらない、本機が高温になる等、作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら直ちに使用を中止してください。異常のある場合は、お買い求めの販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)へ点検・修理に出してください。そのまま使用を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

▲ 注意

1. **作業場は、いつもきれいに保つ。**
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. **子供を近づけない。**
 - ・作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。
3. **使用しない場合は、きちんと保管する。**
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。

▲ 注意

4. **無理して使用しない。**
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. **作業に合った電動工具を使用する。**
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
6. **きちんとした服装で作業する。**
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. **集塵装置が接続できるものは接続して使用する。**
 - ・電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
8. **電動工具は、注意深く手入れをする。**
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・電動工具は定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。けがの原因になります。
9. **無理な姿勢で作業をしない。**
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
10. **調節キーやレンチなどは、必ず取り外す。**
 - ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。付けたままですと、作業時に外れてけがの原因になります。

▲ 注意

11. 屋外使用に合った延長コードを使用する。

- ・屋外で使用する場合は、キャプタイヤコード、又はキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行う。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。
軽率な行動や非常識な行動などをすると事故やけがの原因になります。

13. 損傷した部品がないか点検する。

- ・使用前に、各部品やビットなどの工具類に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した部品の交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

14. 電動工具の修理は、専門店で依頼する。

- ・サービスマン以外の人は、電動工具を分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・電動工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

・騒音防止規制について

騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があり、規制値以下でご利用になる必要があります。状況に応じて遮音壁を設けるなどしてご使用ください。



▲ 乾式静音ドリルの安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、乾式静音ドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

▲ 警告

1. 使用電源は必ず定格シールに表示してある電圧で使用する。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、振り回されないよう工具本体を確実に保持する。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因となります。
3. 使用中は、回転部や切りくずなどに手や顔などを近づけない。
 - ・けがの原因になります。
4. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめる。
 - ・埋設物があると先端工具が触れ感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ビットなどの工具類や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
6. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店又は、マックスサービスファクトリー(株)に点検・修理を依頼する。
 - ・そのまま使用を続けると、けがの原因になります。
7. 高所作業の時には下に人がいないことをよく確認する。また、電源コードをひっかけたりしない。
 - ・材料や本機を落したときなど、事故の原因になります。
8. エンジン発電機や直流電源では絶対に使用しない。
 - ・本機の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。



▲ 乾式静音ドリルの安全上のご注意

▲ 注意

1. 先端工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。
・確実に取り付けていないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しない。
・回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 細径ビットは破損しやすいので注意する。
・飛散して、けがの恐れがあります。
4. 作業直後の先端工具類（ビットなど）や、切りくずなどは高温になっているので触れない。
・やけどの原因になります。
5. 工具類で電源コードを切断しないように注意する。また、電源コードへ極端な負荷をかけて曲げないようにする。万一、電源コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜く。
・感電やショートして発火する恐れがあります。
6. 本体を作動させたまま床などに放置しない。
・けがの原因になります。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。



本機は二重絶縁構造になっており、工具の外側の部品は電力の供給源と絶縁されており、アースしなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

延長コード

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）最大長関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm ²	10m
2.00mm ²	20m

※延長コード使用による電圧降下のトラブルを未然に防止する為に、なるべく延長コードの接続は避けて、直接、元電源に本機を接続してください。

4 仕様及び付属品

〈本体〉

商 品 名	マックス 乾式静音ドリル
商 品 記 号	DS-181D
能 力	コンクリート：φ10～18mm
無 負 荷 回 転 数	高速モード：8,000min ⁻¹ （8,000回転/分） 静音モード：4,000min ⁻¹ （4,000回転/分）
電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	1,060W（11A）
本 体 寸 法	全長 380mm × 幅 91mm × 高さ 160mm
質 量	3.5kg
ラ イ ト	白色LED

〈付属品〉

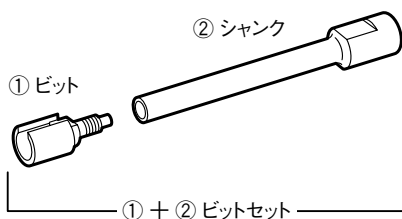
サイドハンドル	○
深 さ ゲ ー ジ	○
集 じん カ ッ プ	○
砥 石	○
ス パ ナ	8mm×10mm：1本 11mm×13mm：1本 17mm：2本
取 扱 説 明 書	○
保 証 書	○
キャリングケース	○

・上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

5 別販売品

刃先径 (mm)	商品名			有効長 (mm)
	ビットセット ①+②	ビット単体 ①	シャンク単体 ②	
10.0	DS-BS10/100D	DS-B10D	DS-S10/100D	100
10.5	DS-BS10.5/100D	DS-B10.5D		100
12.0	DS-BS12/100D	DS-B12D	DS-S12/100D	100
12.5	DS-BS12.5/100D	DS-B12.5D		100
12.7	DS-BS12.7/100D	DS-B12.7D		100
14.5	DS-BS14.5/100D	DS-B14.5D	DS-S14/100D	100
16.5	DS-BS16.5/100D	DS-B16.5D	DS-S16/100D	100
18.0	DS-BS18/100D	DS-B18D		100

・上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますのでご了承ください。



〈主な用途〉

- コンクリート、モルタルなどへの穴あけ作業
(鉄筋、デッキプレート及び一部の硬質タイルへの穿孔はできません。)

6 ご使用前に

◆シャンクの取り付け・取り外し方

⚠ 警告

- ビットやシャンク、付属品の取り付け・取り外しを行う前に必ず電源プラグをコンセントから外す。

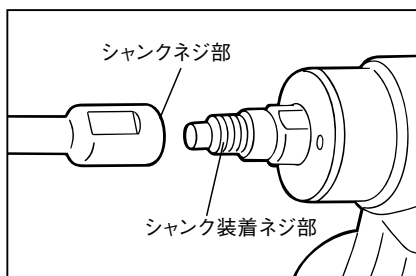
電源プラグをコンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

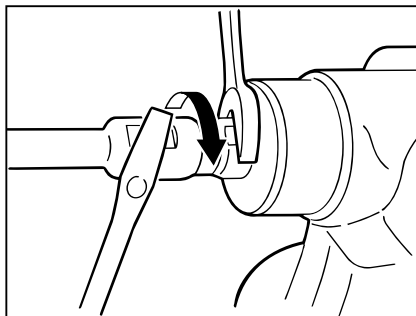
- ビット及びシャンクは当社指定の別販売品を使用する。(P9「5. 別販売品」参照)

シャンクの取り付け方：

最初にシャンクネジ部、本機のシャンク装着ネジ部に粉塵等がついてないか確認します。粉塵等がついていた場合には、乾いた布等でよく拭きとってください。



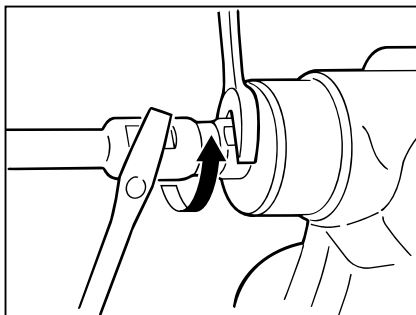
シャンクネジ部を本機のシャンク装着ネジ部にねじ込み、付属の17mmスパナをそれぞれの平面部に差し込んで締め込みます。



※締め込む際には締め過ぎに注意してください。
シャンク及び本機の平面部の損傷に繋がります。

シャンクの取り外し方：

シャンクを取り外す場合は、取り付け方の逆の手順で行ってください。



◆ビットの取り付け・取り外し方

⚠ 警告

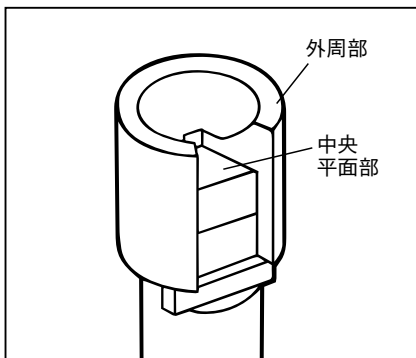
- ビットやシャンク、付属品の取り付け・取り外しを行う前に必ず電源プラグをコンセントから外す。

電源プラグをコンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

- ビット及びシャンクは当社指定の別販売品を使用する。(P9「5. 別販売品」参照)

※ビット外周部が中央平面部付近まで摩耗したら、ビットを交換してください。摩耗したビットを使用されますと、直進性が悪くなったり、穴径が小さくなったり、ビットの破損につながりますので、無理な使用はお止めください。また、ビットの状態によっては早めの交換が必要ですので摩耗量が少なくても、直進性が悪くなったり、穴径が小さくなった場合には、早めにビットを交換してください。



ビットの取り付け方：

最初にビットネジ部、ビット装着ネジ部に粉塵等がついてないか確認します。粉塵等がついていた場合には、乾いた布等でよく拭きとってください。

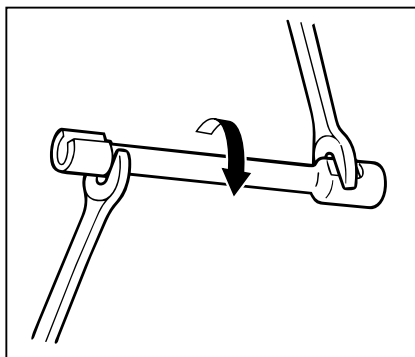
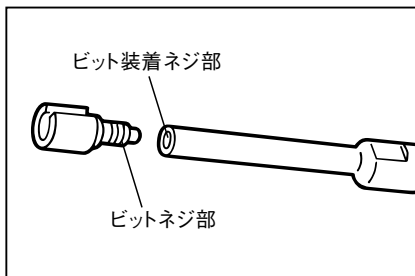
ビットネジ部をビット装着ネジ部にねじ込み、下記の表を参考に付属の適合スパナをビットの平面部に差し込み、また付属の17mmスパナをシャンクの平面部に差し込んで締め込みます。

※締め込む際には締め過ぎに注意してください。

平面部の損傷に繋がります。

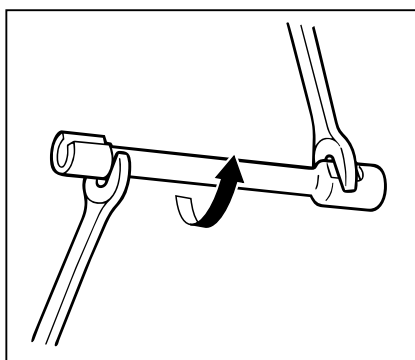
〈適合スパナ〉

呼び径	商品名	スパナサイズ
10.0	DS-B10D	8mm
10.5	DS-B10.5D	
12.0	DS-B12D	10mm
12.5	DS-B12.5D	
12.7	DS-B12.7D	
14.5	DS-B14.5D	11mm
16.5	DS-B16.5D	13mm
18.0	DS-B18D	



ビットの取り外し方：

ビットを取り外す場合は、取り付け方の逆の手順で行ってください。



警告

- シャンクがあきらかに曲がっている場合や、細くなっている場合には直ちに交換を行う。本機の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

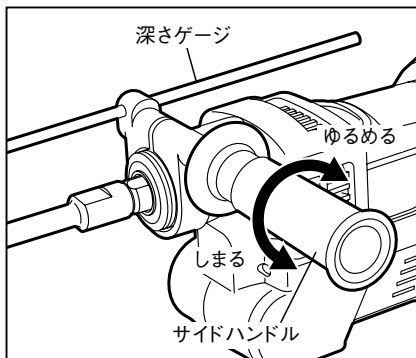
※シャンクはビット5個程度を目安に交換してください。

◆サイドハンドルと深さゲージについて

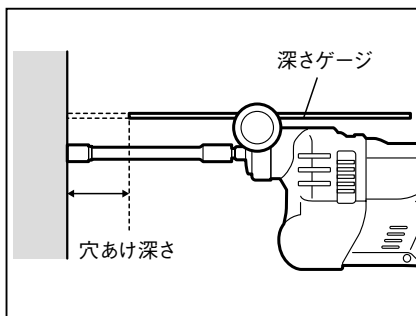
⚠ 警告

- 本機を使用する際、必ずサイドハンドルとともに使用する。サイドハンドルを使用し、両手でしっかりと本機を固定して使用する。

本機に備え付けのサイドハンドルは、360度の自由な角度に設定することが可能です。作業に一番合う角度に調節してご使用ください。



深さゲージを使うことで、穿孔時の深さを調整することができます。深さゲージはサイドハンドルの握り部分を緩めると自由に動きますので、適切な深度に調節してご使用ください。



※深さゲージはあくまでも目安のため正確な穿孔を行うときは、直接穴深さを測って穿孔を行ってください。

◆集じんカップについて

⚠ 注意

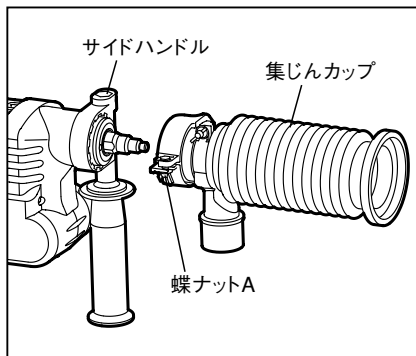
●集じんカップを持って、本機を持ち上げない。

本機が落下し、けがのおそれがあります。

サイドハンドルへの取り付け方：

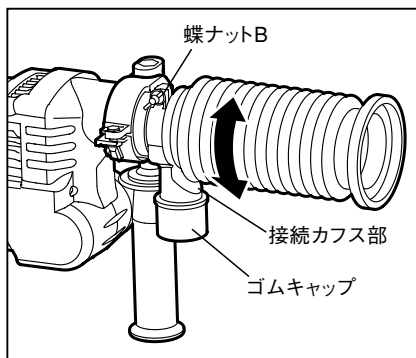
蝶ナットAをゆるめ、集じんカップをサイドハンドルにかぶせます。

かぶせた後は蝶ナットAを締め直してください。



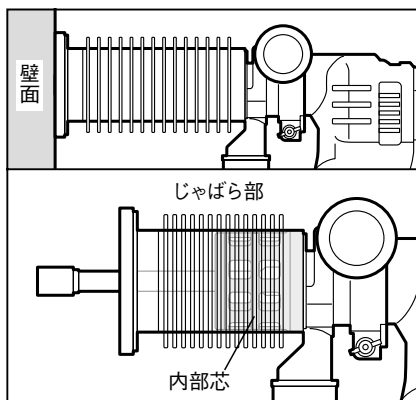
集じん機への接続の仕方：

本機付属品の集じんカップは市販の集じん機、バキュームへ繋いでもご使用できます。接続カフス部（内径：26mm）についているゴムキャップを取り外し集じん機に接続されたホースをつないでください。接続カフス部は蝶ナットBをゆるめることで、角度を変更することができます。作業に一番合う角度に調節してご使用ください。また、集じん機と接続しない場合にはゴムキャップを取り付けておいてください。



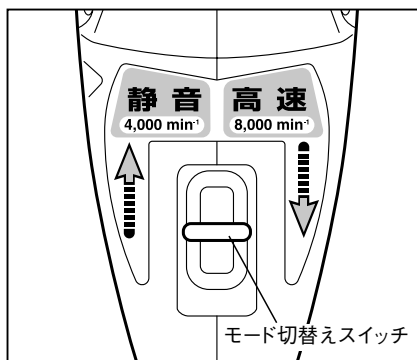
使用方法：

作業時は集じんカップをぴったりと穿孔面につけて作業してください。また、ビット先端を穿孔位置にあわせる際は、集じんカップのじゃばら部分を縮め、内部に芯の入った部分の外側を持って、ビット先端の位置あわせを行ってからご使用ください。



◆モード切替えスイッチの操作方法

本機には、作業環境に応じて回転数を調整するモード切替え機構が装備されています。作業条件にあったモードでご使用ください。



高速モード：ビット回転数8,000min⁻¹ 通常の作業環境で、より速く穿孔したい場合にご使用ください。(モード切替えスイッチを後方グリップ側に押してください)

静音モード：ビット回転数4,000min⁻¹ 病院や夜間など、より一層の発生音の低減が求められる場合にご使用ください。(モード切替えスイッチを前方ビット側に押してください)

モータの回転中にモード切替えスイッチの操作を行わないでください。機械の故障などに繋がります。モータの回転中にモード切替えスイッチの操作を行ってもモードは変わりません。一度、スイッチをはなし、完全に作動が停止するのを確認してから、モード切替えスイッチを操作してください。

7

ご使用方法

◆スイッチの操作方法

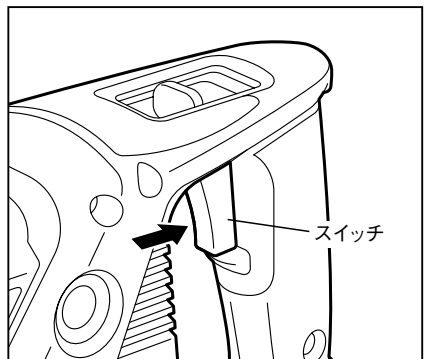
⚠ 警告

- 使用するとき以外はスイッチに指をかけない。
不意な始動により、けがの原因になります。

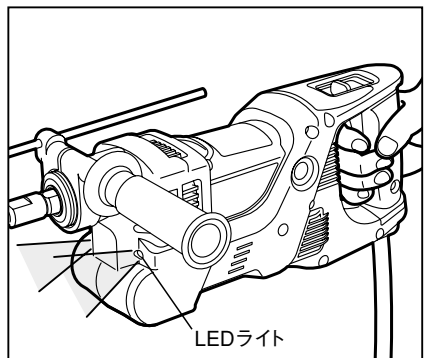
⚠ 注意

- ライトの光を直接のぞき込んだり、ライトの光を直接目に当てない。
ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

本機はスイッチを引くと作動します。また、スイッチをはなすと止まります。



また、スイッチを引くとLEDライトが点灯し、はなすと消灯します。



◆使用手順

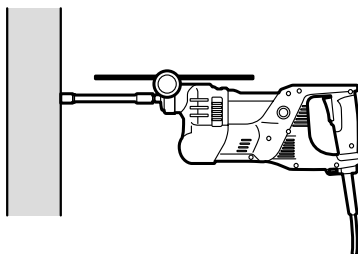
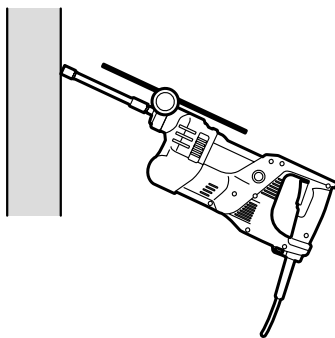
⚠ 警告

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。
けがのおそれがあります。

⚠ 注意

- 本体が熱くなったら作業を中断して本体の温度が下がってから使う。
- 使用時に本体側面の風穴をふさがない。
風穴をふさいで使用すると、故障の原因となります。
- 穴あけの際は無理に押し付けない。
コンクリート内の石や鉄筋などにビット先端があたり、穿孔できなくなった場合には、無理に押し付けないでください。無理に押し付けて穿孔した場合、ビット先端が焼けてしまうばかりでなく、シャンクの曲がりや機械の破損にもつながる恐れがありますので、直ちに穿孔を止めて、穿孔場所を変更してください。また、デッキプレートへの穿孔はできません。
- 穴あけ終了後はビット及びシャンクを回転させながら、部材から引き抜く。

1. ビット及びシャンクを取り付ける。
2. サイドハンドルを調節します。
3. 必要に応じて深さゲージ、集じんカップを取り付けます。
4. モード切換えスイッチで「高速モード」か「静音モード」の設定を行います。
5. スイッチを入れます。
 - ① スイッチをいっぱいに引いて、全速回転になったことを確認します。
 - ② ビットを回転させながら対象材へビット先端を斜めに当てます。(右上図)
 - ③ 対象材にビット先端が食い込んだら、本機を起こして、本機が対象材に垂直になるようにします。(右下図)
 - ④ そのまま本機を押し付けて所定の深さまで穿孔します。
6. 穴あけ終了後はビット及びシャンクを回転させながら、部材から引き抜く。



※ビット先端をコンクリートに押し付けた状態でスイッチを入れないでください。本機が振り回され危険です。

※鉄筋を切断することはできません。鉄筋のない位置へずらして穿孔してください。

※タイルの穿孔について

内装タイルなど多孔質の材料は穿孔できますが、外装タイルなど硬質の材料は穿孔できません。お試しいただき、穿孔が極端に遅い、ビット先端が焼けてしまうなどの場合はすぐに穿孔をやめてください。

◆ビットの目出しについて

⚠ 警告

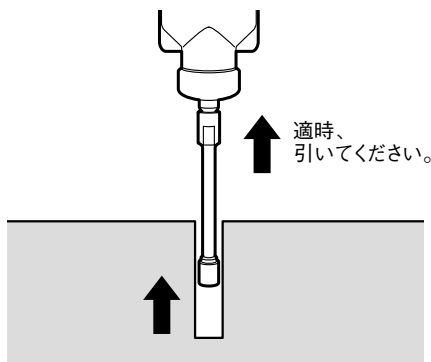
●穿孔後すぐにビット、シャンクに触らない。穿孔後のビット及びシャンク部は非常に熱くなっており、火傷の危険性がありますので、絶対に触れない。

●目出しをする時には、砥石をしっかりと固定してから行う。

砥石がしっかりと固定されていないと、ビットと一緒に回転し、けがの原因になります。

穿孔中、急に切れ味が落ちた場合や刃先が変色するなどの異常が生じた場合は、目出しを行ってください。また、穿孔中にコンクリート内の石などに当たると速度が落ちますが、無理に押し付けしないでください。ビット焼けの原因になります。その場合は、無理に押し付けずに穿孔を続け、適時ビットを引いて、穿孔中の切削粉の排出を促進させてください。また、下記の要領で目だしを行ってから穿孔してください。それでも穿孔できない場合は、穿孔位置を変更してください。

目出しを行う際には、付属の砥石をしっかりと固定した上で、通常の穿孔のように、1回砥石への穿孔を行ってください。



◆過負荷保護機構について

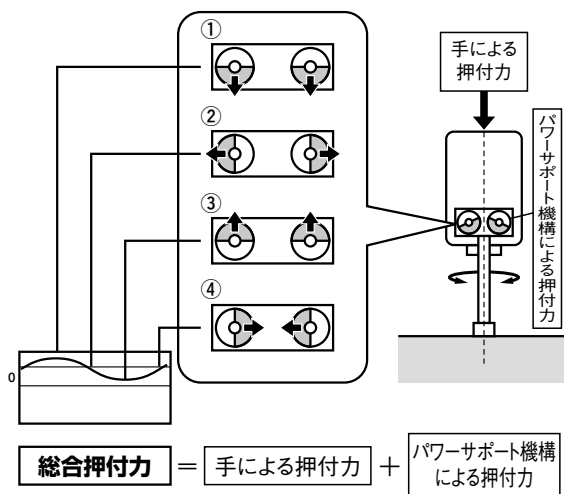
この機構は、作業中の本体への急激な負荷によるモータの焼損を防ぐもので、モータがロックした時から約1秒後に自動的に電源をOFFする機構です。スイッチをはなし、完全に作動が停止するのを確認してから、再度スイッチを引けば、再度作動いたします。

8 パワーサポート機構について

本機にはパワーサポート機構が内蔵されています。パワーサポート機構は本機内部のおもりの回転により、手による押付力を補助する機構です。対象材に対して押したり引いたりというポンピング穿孔が自動的に行われ、この動作により切削粉の排出性を上げ、穿孔スピードのアップやビット寿命のアップなどの効果を生み出します。

機械内部には2個の半月状のおもりがあり、それぞれが逆方向に回ることによって下記のような現象が繰り返されます。

- ① おもりが2個とも穿孔方向側にある時、手による押付力にパワーサポート機構の力が加わります。
- ② おもり2個が逆方向にある時、パワーサポート機構の力は相殺され、手による押付力のみとなります。
- ③ おもりが2個とも穿孔方向と逆側にある時、手による押付力を少し引き戻す状態となります。
- ④ おもり2個が同じ方向に向いた時、パワーサポート機構の力は相殺され、手による押付力のみとなります。



※パワーサポート機構はスイッチを入れて1秒後に作動します。多少の振動が発生しますが、異常ではありません。

9 性能を維持するために

◆本機の手入れ

⚠ 警告

- 本機の点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
電池プラグをコンセントに差し込んだまま行くと事故の原因になります。

本機の掃除にはから拭き、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を湿らせた布をよく絞ってから表面を拭いてください。

ガソリン、テレピン油、ペイント用シンナーなどの薬品は本機を傷めますので使用しないでください。

本機内部に液体が入らないように、また、本機を液体に浸けないように十分注意してください。

◆各部取り付けねじの点検

本機のねじが緩んでいないか点検してください。

もし、緩んでいたら締め直してください。

◆作業後の保管

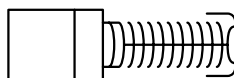
作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れがある所は避けてください。

◆カーボンブラシの交換

⚠ 注意

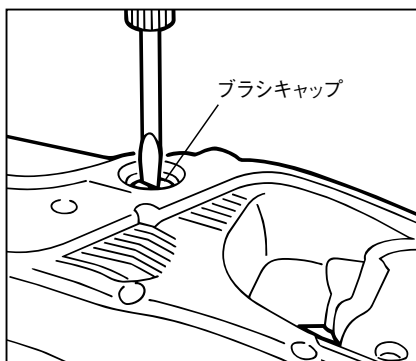
- 新品と交換する際は必ず指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用しますと、ブレーキがかからないことがあります。

- カーボンブラシは定期的に取り外して点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず指定のカーボンブラシをご使用ください。

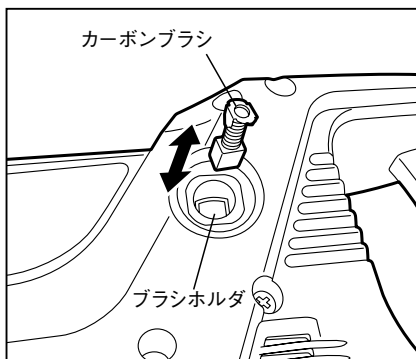


限界摩耗線

1. ネジ回しでブラシキャップを取り外してください。



2. 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。



10 性能を維持するために

【保証について】

- 本機には保証書（外箱スリーブに添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。

【アフターサービスについて】

- 本機の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。必ずお買い求めの販売店またはマックスサービスファクトリー(株)までご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがの恐れがあります。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理をさせていただきます。



マックス株式会社

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8121(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761(代)
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬町2313	TEL(028)636-3012(代)
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233-5	TEL(027)210-7755(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(04)7132-1500(代)
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
浜松営業所	〒433-8117	浜松市中区高丘東2-22-15	TEL(053)439-3300(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2035(代)
京阪営業所	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL(078)367-1580(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347(代)

販売関係会社

新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1873(代)
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(076)452-0182(代)
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2-1-35	TEL(089)913-0608(代)

マックスサービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。